

ヒ-258-3

研究機関：広島大学

【ヒトゲノム・遺伝子解析研究】

研究課題名	SARS-Cov-2 による症候性、無症候性感染に関わる宿主遺伝因子の検討
研究責任者名	大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段 秀樹
研究期間	2020年 7月～ 2023年 3月
対象者	<p>広島大学病院の入院時スクリーニング検査で Covid-19 感染が分かった患者さんのうち本研究に同意をされた患者さん及び広島県内で Covid-19 感染症と診断され、COVID-19 指定病院である県立広島病院、広島市立舟入市民病院に入院・退院したまたは新規に入院する患者さんのうち、本研究に同意をされた患者さん。</p>
意義・目的	<p>COVID-19 感染の無症候性経過や重症化の原因については、患者さんの個体差があるということが明らかになっていますが、宿主の免疫関連遺伝子背景による差についてはまだ解明されていません。今回、COVID-19 感染の無症候性経過および重症化に関連する遺伝子解析を行うことで、リスク因子を明らかにするため、この研究を計画しました。</p>
方法	<p>本研究は、ヒトゲノム・遺伝子解析研究です。提供いただいた血液から分離した DNA を用いています。同意をいただいた際に説明をさせていただいた研究の内容に追加し、試料・情報、解析データ等は名前などがわからないようにした上で、国立国際医療研究センターが主催する厚生労働省新興・再興感染症データバンク事業（REBIND）に残余血清試料・情報を寄託する予定です。（同意の際に試料の将来新たに計画・実施される遺伝子多型の医学研究への利用に同意されていない方の試料の提供は行いません。）</p>
共同研究機関	<p>県立広島病院 研究責任者名：平川 勝洋          広島市立舟入市民病院 研究責任者名：高蓋 寿朗</p>
試料・情報の管理責任者	<p>広島大学大学院医系科学研究科 消化器・移植外科学 教授 大段 秀樹</p>
個人情報の保護について	<p>本研究は広島大学の倫理審査委員会で審査を受けて承認をされています。研究は、プライバシー保護に十分留意して行います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>データバンクへ試料・情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3          広島大学病院 消化器・移植外科 職名 助教 谷峰 直樹          Tel : 082-257-5222          E-mail: tanimine@hiroshima-u.ac.jp</p>